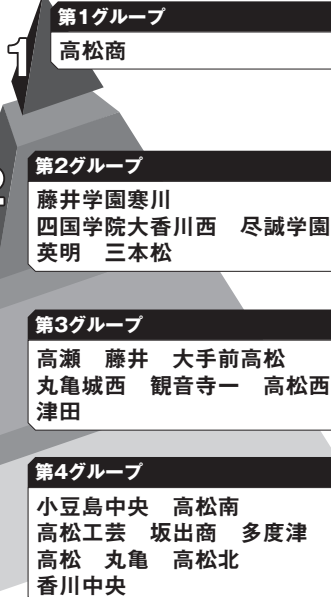


夏の高校野球パーフェクトガイド2019

地区勢カピラミッド



秋季大会

| | | |
|--------|---|---|
| 尽誠学園 | 1 | 2 |
| 英明 | 6 | 7 |
| 高松商 | 8 | 7 |
| 小豆島中央 | 1 | 7 |
| 香川中央 | 2 | 6 |
| 藤井学園寒川 | 8 | 4 |
| 志度 | 9 | 7 |
| 大手前高松 | 7 | 7 |

春季大会

| | | |
|----------|---|----|
| 志度 | 6 | 1 |
| 高瀬 | 8 | 6 |
| 大手前高松 | 2 | 1 |
| 四国学院大香川西 | 8 | 6 |
| 藤井学園寒川 | 3 | 16 |
| 尽誠学園 | 4 | 2 |
| 藤井学園藤井 | 5 | 3 |
| 多度津 | 3 | 3 |

優勝II高松商

優勝II四国学院大香川西

※高松商はセンプツに出場したため、春大会には出場せず

大会展望

高松商が敗れば「初出場」が生まれる可能性も

シード4校はセンプツ1勝の高松商を第1シードに、以下、春の県大会順位通り四国学院大香川西、尽誠学園、藤井学園藤井の順。順当であれば走攻守にワンランク秀でる高松商の春夏連続甲子園が濃厚である。ただし、大黒柱・香川が崩れるようなことがあれば状況は一変。打力がある藤井学園寒川、尽誠学園、三本松、四国学院大香川西、絶対的エースがいる英明ばかりでなく、思わぬ伏兵が飛び出しそうだ。2010年英明以来となる「甲子園初出場」の表記も十二分にあり得る。

台風の目になりうる高松西

今大会は高松西が面白い。リストにも掲載した内山翔斗の他にも中堅手の前川翔太、右翼手の土居雅人、マウンドでは最速137キロも出す左翼手の宮脇大治はいずれも50メートル走6秒1の俊足。「バントを使いながら攻めたい」と清水浩行監督も自信をのぞかせる。ここまで秋は3回戦で高松に1対2、春は2回戦で三本松に4対5と結果を残せていないが、タレントたちの意思が合致すれば、1987年センプツ以来、夏は甲子園初出場を果たしたとしても何ら不思議はない。

1年夏は1秒8の二塁送球で魅せた岡本匠平（丸亀）。一塁駆け抜け4秒を切る砂川太雅（藤井学園藤井）に、スイング力は目を見張る安倍総星（志度）。そしてポテンシャルの宝庫であるサンドウ・シャーンタヒル（津田）。いずれも県内レベルを超える大器であることは間違いない。

ただ、現状の戦力評価では堅実な守備が光る大塚慶汰や持ち替えトレーニングで二塁送球2秒切りを実現させた新居龍聖といった高松商勢に、ボールを長く待てる井

注目野手

また、強肩の松野一也（坂出商）投手・内野手・外野手で才能を發揮する仲村光陽や、大型遊撃手として一部NPBスカウトがマークする宝来真己といった尽誠学園勢も成長に期待したい。

左右の2年生大砲

上治樹（大手前高松）の後塵を拝していることもまた事実。高校野球で残されたのは、あと1大会のみ。大器たちの覚醒を楽しみに待ちたい。

今年は2年生野手に逸材が揃っている。代表格は左打者の多田聖一郎（三本松）と右打者の田中大貴（観音寺一）。いずれも高校通算20本塁打を超えるスラッガーである。



田中大貴（観音寺一）

北海道東北

関東

北信越

東海

近畿

中国

四国

九州沖縄